

アキレスJDパネル

高性能硬質ウレタンフォーム断熱材複合パネル

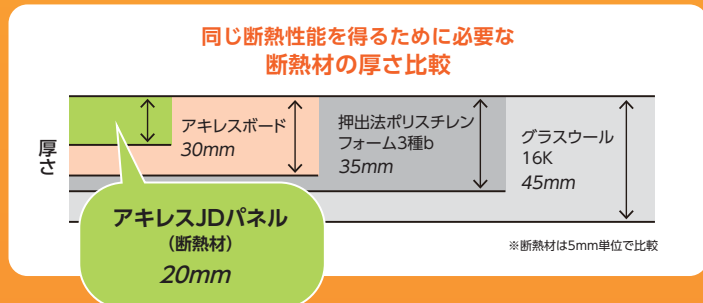
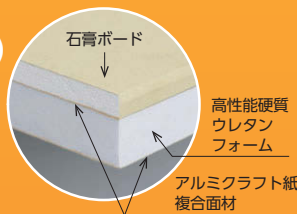
断熱材+石膏ボード 既存壁上張り断熱リフォームに適した断熱材複合パネル

次世代省エネ建材支援事業
補助金対象製品

POINT 1 薄くても高断熱性能

熱伝導率0.018W/(m・K)

の高性能硬質ウレタンフォームを採用。
薄く仕上がり、
居住スペースへの影響が少ない。



POINT 2 住まいながらリフォーム

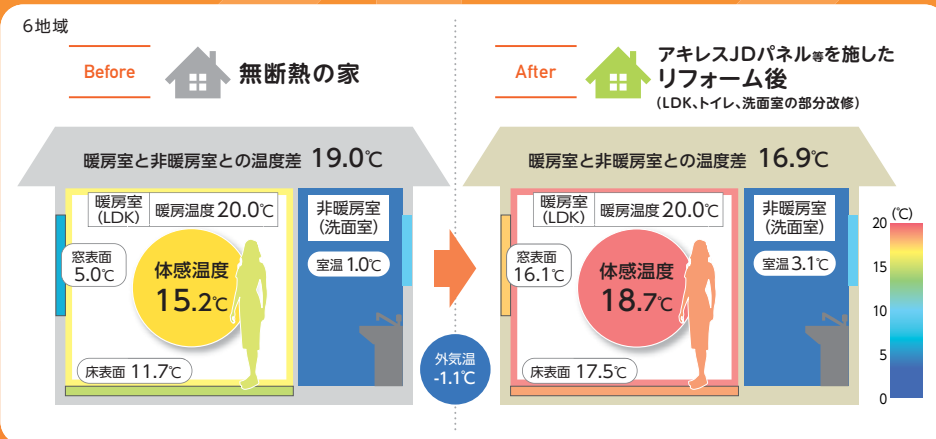
壁・天井を壊さずに短期間で施工完了。
住まいながらの部分的な断熱リフォームも可能。
施工方法:ビス固定

※下地に建築用鋼製下地が無くビス固定が出来ない場合は接着剤を使用。接着剤を使用しての張り付け施工が必要な部分に関しては、必ずクロスを剥がしてください。
※接着剤による施工は例外です。原則ビス固定をしてください。詳しくは施工要領書をご確認ください。



POINT 3 保温性の改善

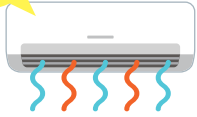
冬場、無断熱の家に比べ、アキレスJDパネル等を施したリフォーム後は室内の熱が外へ逃げにくくなるため、体感温度が上がり、より快適に過ごせます。



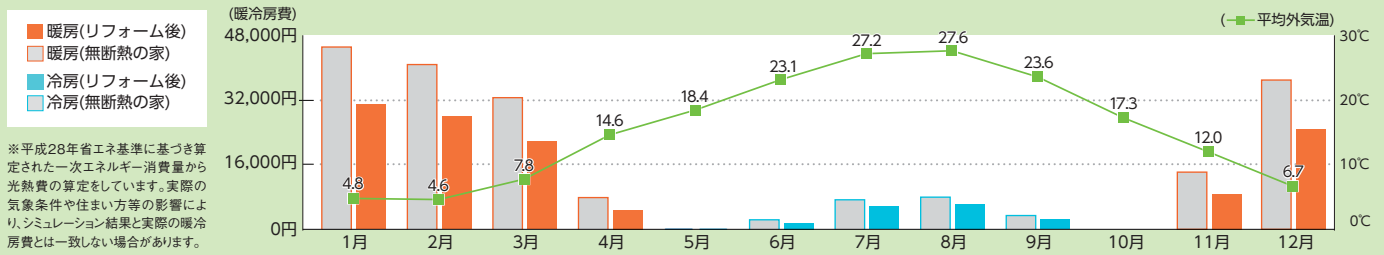
	無断熱の家	アキレスJDパネル等を施したリフォーム後	
区画熱損失係数Q*	16.70 (S55年基準相当) ☆	5.90 (H28年基準相当) ☆☆☆	
【参考】全体UA値	3.12	2.49	
各部位	断熱仕様	断熱仕様	U値
屋根/天井	無断熱(せっこうボード)	アキレスJD/パネル 9.5+20mm	0.73
床	無断熱	アキレスジュウテンR 45mm	0.80
外壁	無断熱	アキレスJD/パネル 9.5+20mm	0.71
窓	金属製+単板ガラス	外窓:金属製+単板ガラス 内窓:樹脂製(木製+Low-E複層) (A10以上)	1.71
間仕切り壁	断熱性能未確認	アキレスJD/パネル 9.5+20mm	0.71

※「改修版自立循環型住宅への設計ガイドライン」に示された、各部位のU値を元にした温度予測を示します。
※暖房を行い室温を20℃に保った状態における各温度を示します。
※体感温度とは、人が実際に感じる温度で、室温と、天井・壁・床・窓の表面温度から求めます。
※実際の暖房機器、既存部の状態等の影響により、シミュレーション結果と実際の室温、表面温度とは一致しない場合があります。
※住宅性能診断士ホームズ君「省エネ診断エキスパート」によるシミュレーション結果例

Check!



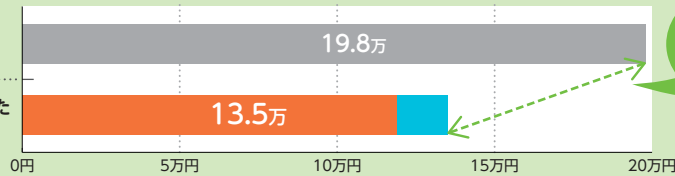
アキレスJDパネル等を施した断熱リフォーム前後の暖冷房費シミュレーション結果例



※平成28年省エネ基準に基づき算定された一次エネルギー消費量から光熱費の算定をしています。実際の気象条件や住まい方等の影響により、シミュレーション結果と実際の暖冷房費とは一致しない場合があります。

年間暖冷房費

無断熱の家
アキレスJDパネル等を施したリフォーム後



年間の暖冷房費の差額
6.3万

※住宅性能診断士ホームズ君「省エネ診断エキスパート」によるシミュレーション結果例(表面と同条件による)

断熱材の基本物性

項目	単位	数値
密度	kg/m ³	43
熱伝導率	W/(m・K)	0.018以下
透湿係数	ng/(m ² ・s・Pa)	2以下
圧縮強さ	N/cm ²	10以上
吸水量	g/100cm ²	3.0以下

※硬質ウレタンフォーム単体の断熱性能です。

アキレスJDパネルの規格

厚さ [mm]		幅 [mm]	長さ [mm]
石膏ボード(ベベルエッジ)	断熱材		
9.5	20		



火気取り扱いについて

- アキレスJDパネルを保管する場合は火気に十分注意してください。
- アキレスJDパネルのそばでの溶接・溶断並びにその他の火気の使用は原則禁止です。やむをえず溶接作業等を行う場合は、防火シート等で養生し、かつ消火設備を準備した上で、監視者立会いのもと、慎重に作業してください。

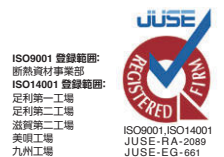


作業上の注意事項

- 切断、サンディング等の加工作業の際に、長期間多量の粉塵を吸引すると、健康を損なう恐れがありますので防塵マスクや安全メガネの着用をお願い致します。

その他の注意事項

- アキレスJDパネルを保管する場合は、製品の劣化を防ぐために直射日光が当たる場所、湿度の高い場所、風雨にさらされる場所を避けて保管してください。
- 製品の反り等を防ぐために、屋内の水平な場所に敷板などを利用してきちんと平置きしてください。また、製品の立てかけはおやめください。曲げ癖がつくと適正施工が出来なくなります。
- アキレスJDパネルは、水濡れ、湿気厳禁の材料です。水や湿気に直接触れる部分への施工は避けてください。
- 製品を放り投げることや落とすことはお止めください。製品が破損するおそれがあります。
- 梱包された製品を持つ時はPPバンドを持たないでください。PPバンドが切れて製品が落下し、怪我をするおそれがあります。また製品の破損の原因になります。
- 既存建築物の構造、取り合い、設備等によっては、カタログ記載の改修方法の採用ができない場合や、想定した効果が得られない場合があります。
- 断熱リフォームの実施に当たっては、既存建築物の状況をよく調査、確認の上、適切な施工、措置をしてください。
- リフォーム計画の際は、各部位をバランス良く改修する必要があります。



アキレス株式会社

断熱資材事業部 断熱資材販売部

本社：〒169-8885 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー
TEL 03-5338-9544
関西支社：〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島2-2-7 中之島セントラルタワー
TEL 06-4707-2348
北海道営業所：〒060-0807 北海道札幌市北区北七条西1-2-6 NCO札幌
TEL 011-806-2013
九州営業所：〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-12-6 花村ビル
TEL 092-477-8475

<https://www.achilles-dannetu.jp> <https://www.achilles.jp>

■このカタログの内容は2020年2月現在のものです。■掲載されている仕様は予告なく変更することがあります。

2002.1(1).KO